

月 日 名前 _____

／100点

次の問題に答えましょう。(各10点)

- 1 米づくりがさかんな平野を1つ答えましょう。

答え

- 2 冬でもあたたかい気候を生かし、野菜を早い時期に出荷する栽培方法を何とといいますか。

答え

- 3 夏でもすずしい気候を生かし、ほかの産地より遅い時期に出荷する栽培方法を何とといいますか。

答え

- 4 大都市の近くで、野菜などを作って新鮮なうちに出荷する農業を何とといいますか。

答え

- 5 りんごの生産がさかんな県を1つ答えましょう。

答え

- 6 みかんの生産がさかんな県を1つ答えましょう。

答え

- 7 乳牛を飼って牛乳などを生産する酪農がさかんな地域はどこですか。

答え

- 8 茶の生産がさかんな県を1つ答えましょう。

答え

- 9 ぶどうやももの生産がさかんな、甲府盆地がある県はどこですか。

答え

- 10 日本の農業がかかえる課題を1つ答えましょう。

答え

- 1 答え：（例）越後平野・庄内平野・秋田平野・石狩平野
- 2 答え：促成栽培
- 3 答え：抑制裁培
- 4 答え：近郊農業
- 5 答え：（例）青森県・長野県
- 6 答え：（例）和歌山県・愛媛県・静岡県
- 7 答え：（例）北海道（根釧台地）
- 8 答え：（例）静岡県・鹿児島県
- 9 答え：山梨県
- 10 答え：（例）農業で働く人の高齢化・後継者不足

要点まとめ

- ・ 米は「北海道・東北・北陸」。広い平野と豊かな水が、米づくりを支えています。
- ・ 促成栽培は「暖かさで早く」、抑制裁培は「すずしさでおそく」。どちらも出荷の時期をずらす工夫です。
- ・ りんごはすずしい地域、みかんは暖かい地域。気候と結びつけて覚えます。

解法ポイント

- ・ 作物は「産地」と「気候・地形」をセットで覚える。
- ・ 促成（早く）と抑制（遅く）を区別する。
- ・ 生産量の順位は年で変わるので資料集で確かめる。